

日本最小のカブト「クロマルカブトムシ」

小宝島で初確認となったクロマルカブトムシの標本などを手にする小宝島学園生と牧野忠彰校長 (同学園提供)



発見学園生「昆虫調べたい」

小宝島学園生が島内で捕まえたクロマルカブトムシ (小宝島学園提供)



牧野校長によると、カブトムシは5月25日、前田さんと島さんが学園近くで登校中に3匹発見。鹿児島県昆虫同好会の塚田拓さんに同定依頼し、クロマルカブトムシの雄1匹、雌2匹と分かった。その後日本大学の専門家

十島村小宝島で、これまで島内で公式に確認されていなかったクロマルカブトムシが初めて採集された。小宝島学園8年の前田志さんと9年島弘弘さんが、牧野忠彰校長に「見たことのない昆虫」を届けたことで新発見につながった。その後、7年の北原雅己さんも発見。同定した研究者がつくった標本を手にした3人の生徒は「もつと昆虫のことを調べてみたい」と喜んでいる。

小宝島で初確認

むずかしい漢字とことば

小宝(こ・だから)
確認(かく・にん)
初(はじ)めて
採集(さい・しゅう)
昆虫(こん・ちゅう)
届(とど)けた
同定(どう・てい) = 生き物の見た目や行動から、その種名を明らかにすること。
標本(ひょう・ほん)
生徒(せい・と)
喜(よろこ)ぶ
匹(ひき)
依頼(い・らい)
雄(おす) 雌(めす)
専門家(せん・もん・か)
記録(き・ろく)
会報誌(かい・ほう・し)
報告(ほう・こく)
喜界(き・かい)
冲永良部(おきの・え・ら・ぶ)
栗国(あ・ぐに)
記載(き・さい) = 書いてのせること。
詳(くわ)しく
好(す)き
離(はな)れ
興味(きょう・み)
義務(ぎ・む)
総合(そう・ごう)
自然(し・ぜん)
授業(じゅ・ぎょう)
捕(つか)まえ
魅力(み・りょく)

2024年12月30日付9面

【問1】 クロマルカブトムシが初めて採集されたのはどこでしょう。

【問2】 クロマルカブトムシの体長はどれくらいなのでしょう。

【問3】 クロマルカブトムシは、どこで確認されているのでしょうか。

【問4】 牧野校長先生は、何に興味を持って調べてほしいと話しているでしょう。

【調べてみよう】 身近な地域に生きるこん虫について調べてみよう。